

令和元年度  
稲美町まち・ひと・しごと創生戦略  
参考資料

(推進委員会資料)

令和2年3月11日

兵庫県 稲美町

## 目 次

### 平成 30 年度地方創生事業の検証について

- ・ 総合戦略における各施策 K P I の状況----- 1
- ・ いなみフルーツレインボー振興事業----- 7

### 令和元年度地方創生事業の状況について

- ・ ひょうご地域創生交付金制度要綱----- 8
- ・ 地方創生若手・中堅職員研究チーム----- 1 2
- ・ 稲美に来てんか事業（稲美町まち・ひと・しごと創生定住促進事業）----- 1 7

稲美町総合戦略アクションプラン（案）-----別冊

# 総合戦略における各施策KPIの状況

基本目標1 稲美町における安定した雇用を創出する	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度 (参考値)	既存目標	新目標
【数値目標】稲美町に常住する就業者数 (基準年と基準値) 平成22年度 国勢調査 14,391人	14,364	—	—	—	—	未達成 15,000人 (令和2年度 国勢調査)	現状維持 15,000人 (令和2年度 国勢調査)
(1) 希望や生きがいをかなえる働き方の創出	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度 (参考値)	既存目標	新目標
① 若者の雇用・就業促進 (基準年と基準値) 若者(25～39歳)の就業者数 平成22年度 国勢調査 4,331人	3,829	—	—	—	—	未達成 4,400人 (令和2年度 国勢調査)	現状維持 4,400人 (令和2年度 国勢調査)
② 女性の雇用・再就業促進 (基準年と基準値) 15歳以上女性就業者数 平成22年度 国勢調査 6,052人	6,144	—	—	—	—	達成 6,100人 (令和2年度 国勢調査)	達成に伴う再設定 6,200人 (令和2年度 国勢調査)
(2) 地域特性を活かした農業の振興	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度 (参考値)	既存目標	新目標
① 担い手の育成 (基準年と基準値) 集落営農組織数 平成25年度 30組織	31組織	32組織	32組織	32組織	(6月末時点) 32組織	未達成 33組織 (平成31年度)	計画に基づく変更 32組織 (令和3年度)
(基準年と基準値) 集落営農組織の法人化数 平成25年度 3組織	3組織	10組織	11組織	11組織	11組織	達成 6組織 (平成31年度)	計画に基づく変更 13組織 (令和3年度)
② 6次産業化の推進 (基準年と基準値) 大規模6次産業拠点施設の配置 平成25年度 1箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	達成 2箇所 (平成31年度)	計画に基づく変更 2箇所 (令和3年度)
(基準年と基準値) 認定農業者数 平成25年度 30人+2団体	30人+5団体	30人+10団体	30人+11団体	31人+12団体	32人+12団体	達成 31人+6団体 (平成31年度)	計画に基づく変更 30人+14団体 (令和3年度)
③ ブランド化の推進 (基準年と基準値) 稲美ブランドのロゴマークの商品への表示又は店頭表示 平成25年度 10品目	16品目	13品目	15品目	14品目	14品目	未達成 18品目 (平成31年度)	現状維持 18品目 (令和3年度)

【基本目標 1】

(3) 活力のある商工業の振興		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度 (参考値) (6月末時点)	既存目標	新目標
① 地域産業の振興 (基準年と基準値) ふるさと納税寄付金協力企業 平成26年度 13品目		13事業所	21事業所	21事業所	21事業所	22事業所	達成	達成に伴う再設定 25 (令和3年度)
	(基準年と基準値) 住宅リフォーム工事受注件数 平成25年度 51件	87件	89件	93件	88件	36件	達成	現状維持 基準年度以上 (令和3年度)
② 商工業の活性化 (基準年と基準値) 年間商品販売額(小売業) 平成24年度 経済センサス 227億円		—	289億円	—	—	—	達成	現状維持 基準年度以上 (令和元年度 経済センサス)
	(基準年と基準値) 「兵庫県観光客動態調査」における稲美町の日帰り観光入込み客 数 平成24年度 126千人	124千人	128千人	124千人	128千人	—	達成	達成 基準年度以上 (平成31年度)
③ 魅力を活用した観光の推進 (基準年と基準値) 「兵庫県観光客動態調査」における稲美町の日帰り観光入込み客 数 平成24年度 126千人		—	1,141	—	—	—	未達成	現状維持 基準年度以上 (令和元年度 経済センサス)
	(基準年と基準値) 事業所数 平成24年度 経済センサス 1,146	—	1,141	—	—	—	未達成	現状維持 基準年度以上 (令和元年度 経済センサス)

基本目標2 稲美町へ新しい人の流れをつくる		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度 (参考値)	既存目標	新目標
【数値目標】転入超過者数							未達成 計 300人 平成27年度～平成31年度までの累 計	現状維持 計 300人 平成29年度～令和3年度までの累 計
(基準年と基準値) 平成22年度～平成26年度までの累計 163人		139人	111人	26人	58人			

(1) 移住の推進		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度 (参考値)	既存目標	新目標
① 転入の促進							達成	現状維持
(基準年と基準値) 転入者数 平成26年度 959人		957人	952人	953人	1026人		基準年度以上 (平成31年度)	基準年度以上 (令和3年度)
② 転出の抑制							未達成	現状維持
(基準年と基準値) 転出者数 平成26年度 910人		969人	968人	963人	979人		基準年度以下 (平成31年度)	基準年度以下 (令和3年度)
③ 土地利用の促進							達成	達成に伴う再設定
(基準年と基準値) 特別指定区域数(田園集落まちづくり) 平成24年度 3地区		3地区	6地区	6地区	7地区	(6月末時点) 7地区	7地区 (平成31年度)	11地区 (令和3年度)

(2) ふるさと意識の醸成		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度 (参考値)	既存目標	新目標
① 食育の推進							達成	計画に基づく変更
(基準年と基準値) 『くらしの中で食育を意識している』と回答した方の割合 平成21年度 37.7%		—	56.8%	—	—	—	40.0% (平成31年度 住民意向調査)	80.0% (令和2年度 住民意向調査)
② 郷土愛の育成							達成	達成に伴う再設定
(基準年と基準値) 『住み続けたい』理由として『住んでいる所に愛着がある』と回答した 方の割合 平成21年度 45.4%		—	50.0%	—	—	—	50.0% (平成31年度 住民意向調査)	55.0% (令和2年度 住民意向調査)

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度 (参考値)	既存目標	新目標
【数値目標】 子どもと女性比 (基準年と基準値) 平成22年度 国勢調査 0.1865		0.21	—	—	—	—	達成 0.1865以上 (令和2年度 国勢調査)	達成に伴う再設定 0.22 (令和2年度 国勢調査)

(1) 安心して結婚ができる社会の実現		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度 (参考値)	既存目標	新目標
① 若者の出会い・結婚のきっかけづくり (基準年と基準値) 人口千人あたり5年間平均婚姻率 平成21年度～平成25年度までの5年間の平均 4.15		4.02	3.87	3.63	3.4	—	未達成 4.50 平成27年度～31 年度までの5年間 の平均	現状維持 4.50 平成29年度～令 和3年度までの5 年間の平均

(2) 安心して出産・子育てができる社会の実現		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度 (参考値)	既存目標	新目標
① 妊娠・出産の不安解消 (基準年と基準値) 合計特殊出生率 平成22年度 国勢調査 1.11		1.36	—	—	—	—	未達成 1.41 (令和2年度 国勢調査)	現状維持 1.41 (令和2年度 国勢調査)
② 子育て家庭への支援 (基準年と基準値) 『子どもの健全育成と少子化問題への取組』に「満足」「やや満足」と回答した方の合計の割合 平成21年度 19.8%		—	27.2%	—	—	—	達成 25.0% (平成31年度 住民意向調査)	達成に伴う再設定 30.0% (令和2年度 住民意向調査)
③ 地域全体で支える子育ての推進 (基準年と基準値) ファミリーサポートセンター提供会員数 平成26年度 23人		23人	25人	25人	26人	(6月末時点) 26人	未達成 30人 (平成31年度)	現状維持 30人 (令和3年度)

基本目標4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る とともに、地域と地域を連携する	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度 (参考値)	既存目標	新目標
	【数値目標】稲美町の居住性について『住みよい』と回答した方の割合 (基準年と基準値) 平成21年度 22.4%	—	16.3%	—	—	—	未達成 25.0% (平成31年度 住民意向調査)
(1)にぎわいのある交流と観光の推進	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度 (参考値) (6月末時点)	既存目標	新目標
①地域の魅力の発信 (基準年と基準値) 稲美町ホームページ(トップページ) アクセス数 平成26年度 401,863件	482,734件	527,830件	357,739件	443,154件	115,872件	達成	現状維持
②交流活動の促進 (基準年と基準値) 『兵庫県観光客動向調査』における稲美町の 日帰り観光入込み客数 平成24年度 126千人	124千人	128千人	124千人	128千人	—	達成	現状維持
③魅力ある観光の推進 (基準年と基準値) 『観光の振興』について「満足」「やや満足」と回答した方の 合計の割合 平成21年度 7.5%	—	20.9%	—	—	—	達成 10.0% (平成31年度 住民意向調査)	達成に伴う再設定 最新の数値以上 (令和2年度 住民意向調査)
(2)安全安心で快適な暮らしの実現	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度 (参考値)	既存目標	新目標
①誰もが安心して暮らせる福祉社会の実現 (基準年と基準値) 『住民が安心して暮らせる保健・医療・福祉体制の整備』に対する「満足」 「やや満足」の合計の割合 平成21年度 30.8%	—	45.1%	—	—	—	達成 35.0% (平成31年度 住民意向調査)	達成に伴う再設定 50.0% (令和2年度 住民意向調査)
②安全安心な生活の確保 (基準年と基準値) 『防災対策の充実』に対する「満足」「やや満足」の合計の割合 平成21年度 42.6%	—	42.1%	—	—	—	未達成 45.0% (平成31年度 住民意向調査)	現状維持 45.0% (令和2年度 住民意向調査)
③便利で快適な公共交通の実現 (基準年と基準値) 『快適で安全な交通環境』に対する「満足」「やや満足」と回答した方の 合計の割合 平成21年度 28.0%	—	26.3%	—	—	—	未達成 40.0% (平成31年度 住民意向調査)	現状維持 40.0% (令和2年度 住民意向調査)
④現状維持	—	—	—	—	—	未達成 30.0% (平成31年度 住民意向調査)	現状維持 30.0% (令和2年度 住民意向調査)

【基本目標 4】

(3)地域資源の活用	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度 (参考値) (6月末時点)	既存目標	新目標
	①地域資源の利活用 (基準年と基準値) 空き家活用件数【累計】 平成26年度 0件	0件	0件	1件	1件	1件	未達成 5件 (平成31年度)
(4)住民協働によるまちづくりの推進							
①住民協働によるまちづくりの推進 (基準年と基準値) 『住民とパートナーシップ』に対する「満足」「やや満足」の 合計の割合 平成21年度 16.5%	—	23.9%	—	—	—	達成 20.0% (平成31年度 住民意向調査)	達成に伴う再設定 25.0% (令和2年度 住民意向調査)
(5)広域的な連帯の推進							
①広域的な連帯の推進 (基準年と基準値) 『広域行政の推進』の設問に対する「満足」「やや満足」の 合計の割合 平成21年度 12.7%	—	17.9%	—	—	—	達成 15.0% (平成31年度 住民意向調査)	達成に伴う再設定 20.0% (令和2年度 住民意向調査)



## ぶどう生産技術向上研修会開催要領

### 1 目的

昨年、ぶどう生産者育成のため、先進地である、加西市の谷川定隆氏からぶどう棚設置時の注意点やぶどう栽培の基本技術を研修した。さらに、新規生産者のぶどう栽培技術(主枝育成技術)の向上を図るために研修会を開催する。

### 2 日時

令和2年 2月21日(金) 10:00~12:00

### 3 場所

加古郡稲美町北山1243-1 (兵庫南農協稲美営農経済センター 2F 研修室)

### 4 内容

ぶどう生産技術向上研修会

講師:農業経営士 谷川 定隆氏 (加西市)

- 1) 植え付け1年~2年目の主枝延長枝の育成管理のポイント
- 2) H型仕立てとWH型仕立ての各主枝誘引配置における注意点について
- 3) 質疑応答

### 5 参集者

東はりま果樹研究会(ぶどう部門)会員14名、JA 兵庫南、稲美町、加古川普及センター 計 17名

# ひょうご地域創生交付金制度要綱

平成30年2月1日

平成31年4月1日 一部改正

## 第1 趣 旨

少子高齢化の進展や本格的な人口減少の中にあっても、活力ある地域社会を実現するためには、市町や地域自らが、その創意工夫により地域創生の取組を主体的に進めていく必要がある。

ひょうご地域創生交付金（以下「県交付金」という。）は、このような観点から、県地域創生戦略又は市町版地域創生戦略に基づく市町、地域住民等の弾力的かつ機動的な取組や地域のポテンシャルを活かした新たな事業展開に資するものである。

## 第2 事業内容

### 1 対象事業

交流や移住・定住を推進する地域振興対策や地域固有の資源を活用した地域活性化対策、地域社会が抱える課題解決に資する取組など県地域創生戦略又は市町版地域創生戦略に基づく市町単独事業を対象とする。

なお、県と市町等が連携して地域創生を推進する事業も対象とする。

### 2 事業タイプ

ソフト及びハード事業とする。

## 第3 事業実施主体

市町及び市町が認める地域団体等とする。

## 第4 申請限度額及び負担率

### 1 申請限度額

(1) 市 1.5億円（政令指定都市及び中核市は2.0億円）

(2) 町 1.0億円

### 2 負担率

(1) 県1/2、市町1/2

(2) 政令指定都市及び中核市は、県1/3、市2/3

## 第5 事業実施期間

平成30年度から平成31年度の2カ年とする。

なお、県地域創生戦略の改訂に併せて、継続を検討する。

## 第6 実施基準等

区 分	内 容
1 実施基準	<p>① 県地域創生戦略又は市町版地域創生戦略に資する新規・拡充事業であること。</p> <p>② 事業の申請にあたっては、国の地方創生推進交付金（以下「国交付金」という）の対象となるものは、国交付金の申請を優先する。なお、国交付金で不採択となった事業についても、県交付金への申請は可能となる。</p> <p>③ 重要業績評価指標（KPI）を設定すること。</p>

2 対象外事業	① 国交付金や各省庁国庫補助事業の対象となるもの ② 地方財政措置があるなど市町として実施すべき事業 (小中学校運営費、市町施設等の老朽化修繕費・運営補填費等) ③ 県単独事業の上乗せ措置 ④ 既存事業の財源充当 など
3 対象外経費	① 市町職員の人件費など市町が負担すべきもの ② 家電・車両等の汎用性の高いもの ③ 光熱費、通信費(電話・通信回線使用料等)などの恒常的経費 ④ 酒類・販売目的の食材等の購入費 ⑤ 不動産取得等個人の資産価値を高めるもの ⑥ 宗教団体への助成 など

## 第7 事業実施の手続き

### 1 事業計画の作成

- (1) 市町は、事業の実施にあたり、事業計画書(別紙様式1号)を兵庫県知事に提出し、承認を受けるものとする。
- (2) 兵庫県知事は、前項の申請があったときはこれを審査し、当該事業計画書が適正であると認められる場合は、承認通知(別紙様式2号)を行う。

### 2 事業の着手

- (1) 事業の実施については、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律(昭和30年法律第179号)第6条第1項の交付の決定(以下「交付決定」という。)後に着手するものとする。
- (2) ただし、事業の効果的な実施を図る上で、緊急かつやむを得ない事情があり、交付決定前に事業に着手する場合にあっては、市町は、その理由を具体的に明記した交付決定前着手届(別紙様式第3号)を兵庫県知事に提出するものとする。
- (3) (2)により交付決定前に事業に着手する場合、交付決定までのあらゆる損失等は自らの責任とすることを了知の上行うものとする。

### 3 事業計画の変更

- (1) 市町は、事業内容の変更を行う場合、事業計画変更報告書(別紙様式4号)を作成し、兵庫県知事の承認を受けるものとする。
- (2) 兵庫県知事は、前項の申請があったときはこれを審査し、当該事業計画変更報告書が適正であると認められる場合は、承認通知(別紙様式5号)を行う。

### 4 事業実績報告

市町は、第7の1の事業計画に基づく全ての事業が完了したときは、事業実績報告書(別紙様式6号)を作成し、兵庫県知事に提出する。

## 第8 業績評価指標の設定及び効果の検証

市町は、事業の実施状況に関する客観的な指標(KPI)を設定の上、その達成状況について、原則、毎年度検証するよう努めるものとする。

## 第9 その他

この要綱に定めるもののほか、県交付金の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附則 本要綱は、平成30年2月1日から施行する。

附則 本要綱は、平成31年4月1日から施行する。

## 令和元年度 ひょうご地域創生交付金 申請概要

### 1. 安全安心な子育て環境整備事業

＜ソフト事業＞			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・母子保健サービス、予防接種、子育て世帯包括支援センターイベント等の情報を配信する母子保健アプリ情報配信サービスを導入</li> <li>・グローバル人材の育成に向けた、外国人英語指導助手の派遣、兵庫教育大学と連携した教員の英語指導力向上研修</li> <li>・任意予防接種に係る費用の一部を助成する</li> </ul>			
交付金対象事業経費の内訳		本事業における重要業績評価指標(KPI)	
幼・小・中一貫した国際理解教育推進事業	10,513	「子どもの健全育成と少子化問題への取組」に「満足」、「やや満足」と回答した人の割合：25%	2020年3月
母子保健アプリ情報配信サービス事業	285		
<b>事業経費合計</b>	<b>10,798</b>		
＜ハード事業＞			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の通学利便向上・交通安全確保に向けた通学路の歩道整備、子どもの遊び場・住民の交流スペース確保に向けた県道整備に伴う代替公園整備調査設計</li> </ul>			
交付金対象事業経費の内訳		本事業における重要業績評価指標(KPI)	
町道草谷・学校線歩道整備（実施設計等）事業	2,960	「子どもの健全育成と少子化問題への取組」に「満足」、「やや満足」の合計の割合：25%	2020年3月
岡東公園調査設計事業	2,460		
<b>事業経費合計</b>	<b>5,420</b>		

### 2. 稲美に来てんか事業

＜ソフト事業＞			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学連携による移住体験イベント（稲美町体験ツアー等）、移住プロモーション媒体の制作、県外在住者のお試し居住家賃補助、インスタグラムを用いたPR</li> <li>・ファミリー層の定着・多子世帯化に向けた、親元近居住宅の取得等支援補助</li> </ul>			
交付金対象事業経費の内訳		本事業における重要業績評価指標(KPI)	
稲美に来てんか事業	5,386	転入者数：基準年以上	2020年3月
稲美町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定事業	1,621		
ホームページシステムリニューアル	1,436	転出者数：基準年以下	2020年3月
親元近居住宅取得等支援補助事業	8,820		
インスタグラムを用いたPR事業	80		
<b>事業経費合計</b>	<b>17,343</b>		
＜ハード事業＞			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内外の子どもから高齢者まで多世代の交流拠点である、いなみ野水辺の里公園の設備充実</li> </ul>			
交付金対象事業経費の内訳		本事業における重要業績評価指標(KPI)	
いなみ野水辺の里公園整備事業	10,483	「住み続けたい」理由として「住んでいるところに愛着がある」と回答した方の割合：50%	2020年3月
<b>事業経費合計</b>	<b>10,483</b>		

### 3. 工業用地整備等商工業振興事業

＜ソフト事業＞			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用創出に向けた工業用地確保のための土地利用構想策定</li> <li>・購買力の町外流出防止・個人消費促進に向けたプレミアム付き商品券の販売</li> <li>・町内の新規創業者に対して新規創業に要した費用の一部を補助することで創業を支援する</li> </ul>			
交付金対象事業経費の内訳		本事業における重要業績評価指標(KPI)	
稲美町商品券事業	1,000	若者就業者数：4,400人	2020年3月
稲美北東部地区土地利用構想策定事業	3,542		
創業支援補助金	700	年間商品販売額（小売業）：基準 年度以上	2020年3月
<b>事業経費合計</b>	<b>5,242</b>		

### 4. 高齢者の健康づくり推進事業

＜ソフト事業＞			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の交通手段確保に向けたデマンド型乗合タクシー化に先立ち、当面の代替策として高齢者バス・タクシー利用支援の対象者拡大</li> </ul>			
交付金対象事業経費の内訳		本事業における重要業績評価指標(KPI)	
高齢者優待利用券等交付事業	12,062	「住民が安心できる保健・医療・福祉体制の整備」に対する「満足」、「やや満足」の合計の割合：35%	2020年3月
<b>事業経費合計</b>	<b>12,062</b>		
＜ハード事業＞			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の高齢化や障害者差別解消法に対応するため、西部隣保館にエレベーターを設置するための実施設計を行う</li> </ul>			
交付金対象事業経費の内訳		本事業における重要業績評価指標(KPI)	
西部隣保館エレベーター設置工事設計事業	3,080	「住民が安心できる保健・医療・福祉体制の整備」に対する「満足」、「やや満足」の合計の割合：35%	2020年3月
<b>事業経費合計</b>	<b>3,080</b>		

<b>交付対象経費総額</b>	<b>64,428</b>	(単位：千円)
-----------------	---------------	---------

H28年度 地方創生若手・中堅職員研究チーム 提案一覧

チーム	提案内容	関係課の意見	決定	現状
主事	<p>アイドル発掘プロジェクト！ 「ご当地アイドルその名は“稲ドル”！？」</p> <p>1. みんなが応援する稲美町のアイドルを決定する。 稲美町をPRする手段として、稲美町民が応援するアイドル“稲ドル”を発掘し、町のイメージアップを図る。 ・2～3名、任期は2年間 ・年齢は18～25歳</p> <p>2. イメージアップの手段 町内外のイベントへの参加、町内企業とのタイアップ、他市町のアイドルとコラボなどで稲美町をいなっちとともにPRし、認知度を上げる。</p>	<p>(総務課) プロダクション等が関与せずに、町のみでご当地アイドルを発掘しても町のPRにつながるのは困難と判断する。</p> <p>(企画課) 町長、いなっちとともにPRする手段が必要との指摘には一考を要するが、ノウハウのない行政主体で、魅力あるご当地アイドルが成功するかどうか大変不安である。また費用対効果を要求されると大変苦しい。</p> <p>(産業課) 町のPRになるのか疑問である。「いなっち」で充分では</p>	検討	検討
主査	<p>子育て応援「173(いなみ)のギフト」事業</p> <p>子育て世帯の支援及び子育て世帯の転出抑制を図るため、1歳、3歳、7歳の子どもを養育する世帯に対して、子育て応援券を交付する。 ・1歳、3歳(1万円のふぁーみん引換券) ・7歳(10万円の稲美町共通商品券※) ※第2子：5万円、第3子以降：3万円 財源は既存事業のブラッシュアップにより捻出。</p>	<p>(総務課) 既存事業の廃止により財源を確保できるのであれば、実施可能と判断する。</p> <p>(地域福祉課) ・給付について、すでに0歳でお米券を支給していることから、1歳、3歳の組み換えについては、ある程度の年数を要するため、7歳への支給のみとした方が混乱がないのもと思われる。 ・また、財源としての長寿祝金の廃止については、困難と思われる。</p> <p>(健康福祉課) 既存事業の見直しは、困難と思われる。</p>	検討	検討
	<p>PR事業</p> <p>①JR駅構内のポスター掲示 ②新聞折込チラシ ③シネマCM</p>	<p>(総務課) 他市町の駅構内等にポスターを掲示するのは困難と判断する。</p> <p>(企画課) ①②③話題づくりには有効だが、費用に対するPR効果は疑問。ポスターは作成するので、あまり経費をかけずにPRしたい。また、駅構内は困難だが、電車内広告等は検討する余地あり。</p>	検討	検討
	<p>その他</p> <p>④子育て関連HPの改善 ⑤撮影ブース(インタビューボード)の設置</p>	<p>(総務課) 記念撮影ブースの設置については、事業効果があると判断する。</p> <p>(企画課) ④見やすく、目的の情報を探せるように、関係各課の協力を得て、子育て関連HPの整理を検討したい。 ⑤来庁記念の撮影ブースを正面玄関辺りに設置し、来庁者に開放したい。また、町のさまざまな情報発信の際に利用するインタビューボード(バックパネル)についても別途実施したい。</p> <p>(地域福祉課) ④わかりやすいホームページの作成に努める。</p> <p>(健康福祉課) ④わかりやすいHP作成に努める。</p>	実施	実施
係長	<p>にぎわいづくり補助金 ～市街化調整区域のにぎわいをとりもどそう～</p> <p>町内の市街化調整区域に空き店舗を活用して事業を開始、または店舗やオフィスを立地しようとする事業者に対して、事業を開始するに当たって要する経費の一部を補助することにより、空き店舗の利活用を促進、地域全体のにぎわいをとりもどし、活性化を図る。</p>	<p>(総務課) 企業立地の観点からの補助金であれば、内容をもっと精査する必要があると判断する。</p> <p>(産業課) 企業立地促進条例と比較して、有利な制度に思われる</p> <p>(都市計画課) 平成29年度新規事業として取り組みたい。 1. 対象区域：旧母里村役場跡周辺地区 2. 対象行為：①住宅建築行為 ②店舗等の建築行為 3. 補助額：①住宅：18万円分町共通商品券 ②店舗等については、既存制度のバランスを考慮し金額決定の必要がある。 4. その他：空き店舗を借りて営業する場合、耐震性の問題もあることから空家の利活用施策とセットで進める必要がある。</p>	実施	実施

H29年度 地方創生若手・中堅職員研究チーム 提案一覧 ①

チーム	提案内容	関係課の意見	決定	現状
主事	<p>「いなみぽいんと」</p> <p>町独自のポイント制度を導入することで住民に楽しみ、利点を感じてもらい町の活性化を図るとともに転出を抑制する。 ポイント制度を実施したイベントを周知してもらうことで、稲美町への転入数を伸ばす。</p> <p>①ポイントカード取得 ②対象イベント（いなみ大池まつり、稲美ふれあいまつり、新春マラソンなど）に参加してポイントを貯める ③貯まったポイントで年度末に抽選会を実施</p>	<p>(総務課) ポイント制度を導入することで、イベントへの参加率の向上は見込めるが、転入の促進や転出の抑制につながるか、事業内容を精査する必要がある。</p> <p>(企画課) 若い世代にイベントに足を運んでもらって、見て体験してもらいたい気持ちは企画課も同感です。 提案事業の対象者は町内在住の若者（20～39歳）と推察されます。年齢を区切ることのメリットとデメリットの検討が必要です。区切らなければターゲットでない高齢者に多く対応が必要となり目的とする効果が薄くなります。年齢を区切れば、境界の人の対応が必要となります。 また、大池まつりは今ですら想定以上の来場者が中心会場に集中することを安全性の面から危惧している状況であり、ポイントカードの対応が現場で可能かどうかは大変疑わしいと思います。 さらに、提案のポイント制度の類似事業として、介護ボランティアポイントや商工会のハッピースタンプをイベントにも拡充できないかとか、提案にある年度末の抽選会はふれあいまつりの会場でできないかとか、ポイント対象にするイベントはどこまで広げるかなど、まだまだ検討が必要な点が多く、関係部署が集まって検討が必要だと考えます。</p> <p>(産業課) 【課内の意見】 当日ポイント対応スタッフが複数必要（現産業課の人員では対応不可） イベントのみでの3ポイント取得となると参加できる人が限定、さらに抽選会の日時が限定されるとさらに参加者が限定される。 ポイントが溜まるほどイベントがあるのか。 【実施案】 人員を削減するために受付等に添付のカードリーダー等を導入。利用者自らがポイント加算 町オリジナルのポイントカードを数種類作成。 交流人口や将来の定住人口の増を狙い、町外の人にも配布。町外向けのカードには稲美町の魅力伝えるためのオリジナルカードを配布 ふれあいまつりや大池まつりなどイベントだけに限らず、各種講演会、公共施設への来館（役場、文化の森・図書館、アクアプラザ、加古大池管理棟など）でもポイントを付与。 将来的には、にじいろふぁ～みんのような施設やふぁ～みんフェスタなどのイベントにも拡充し、企業からの協賛も視野に入れる ふれあいまつり、大池まつりなどは多くの来場者があるため、ポイントを低く設定。動員をかけた講演会や大池まつりのクリーンキャンペーンなどはポイントアップ。 事前に広報等でポイント対象事業を周知 ポイントに応じ、交換できる商品（稲美ブランド・共通商品券など）を設定し、希望する時に交換が可能とする。ただし、ポイントの有効期限は設定</p>	検討	令和元年「いなみ健康ポイント実施

H29年度 地方創生若手・中堅職員研究チーム 提案一覧 ②

チーム	提案内容	関係課の意見	決定	現状															
主査	<p>「稲美町移住バスツアー」</p> <p>町内をバスで観光するツアーを企画し、参加者に稲美町を紹介する。</p> <p>1. ツアー訪問先</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分譲地、空き家など、移住が可能な場所</li> <li>・加古大池、中央公園、文化の森など、町の主要施設</li> <li>・学校、幼稚園、保育園などの公共施設</li> <li>・農業体験、農産物直売所、コスモス畑などの魅力的なスポット</li> </ul> <p>2. 参加特典</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住パンフレット、缶バッジなどをお土産として配布</li> <li>・参加者が稲美町への移住を決めた場合、引越し代金の半額補助（上限5万円）</li> </ul>	<p>(総務課)</p> <p>稲美町の魅力や不動産情報を提供するという事業の目的は評価するが、事業内容・事業費について精査、見直しが必要あり。</p> <p>(企画課)</p> <p>稲美町まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく定住促進の取り組みは、まだまだ必要だと考えているところです。平成30年度の事業として、定住促進のためのプロモーションツールの制作・購入や、流通科学大学と連携して、マーケティング調査や移住者向けの体験イベント（稲美町体験ツアー）を検討しており、チームの提案内容を参考に事業に取り組んでいきたいと考えています。また、PRだけでは稲美町を選んでもらうインパクトに欠けるので、提案の引越し支援金も、お試し居住支援補助と併せて検討したいと思います。</p> <p>(産業課)</p> <p>【課内の意見】</p> <p>町外へのPRであれば、どこまで、どこにお願いするか検討の必要あり。ツアーの訪問先の選定が困難。農業体験を行うならば栽培管理委託料が必要。コスモス畑の開花時期はわかりません。また、植栽場所も毎年変更します。</p> <p>⇒参考</p> <p>いなみトマト満喫モニターバスツアー（主催：稲美町商工会、協力：神戸新聞旅行社） 平成29年7月1日、5日、8日の3回実施</p> <p>【事業費】 商工会が委託しているため、詳細が不明なものがある</p> <table border="1"> <tr> <td>収入</td> <td>ツアー参加者負担（@5,980×142名）</td> <td>849,160円（確）</td> </tr> <tr> <td>商工会負担</td> <td></td> <td>200,000円（確）</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>1,049,160円</td> </tr> </table> <p>支出</p> <table border="1"> <tr> <td>農家への謝金（@1,000×142名×3農家）</td> <td>426,000円（確）</td> </tr> <tr> <td>昼食代（@1,000前後×142名）</td> <td>142,000円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>481,160円</td> </tr> </table> <p>1,049,160円</p> <p>農業体験を組み入れる場合、農家への謝金はそれなりに必要です。</p>	収入	ツアー参加者負担（@5,980×142名）	849,160円（確）	商工会負担		200,000円（確）			1,049,160円	農家への謝金（@1,000×142名×3農家）	426,000円（確）	昼食代（@1,000前後×142名）	142,000円	その他	481,160円	<p>実施に向けた検討</p>	<p>平成30年度流通科学大学との官学連携事業として実施</p>
収入	ツアー参加者負担（@5,980×142名）	849,160円（確）																	
商工会負担		200,000円（確）																	
		1,049,160円																	
農家への謝金（@1,000×142名×3農家）	426,000円（確）																		
昼食代（@1,000前後×142名）	142,000円																		
その他	481,160円																		
女性職員	<p>「消滅可能性都市！？稲美を救う提案します！」</p> <p>①子育てにやさしいまちづくり事業地域全体で子育てしやすい環境をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て応援パスポート事業</li> </ul> <p>町発行のパスポートカードを協賛店で提示するとさまざまなサービスを受けることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・赤ちゃんの駅設置事業</li> </ul> <p>授乳スペース・ベビーベッド・おむつ交換台のある施設の周知と設置を促進する。</p> <p>②稲美に来てんか事業</p> <p>稲美町を知らない人だけでなく知っている人にも稲美町のよさをPRする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PR動画の作成</li> <li>・ため池の活用</li> </ul>	<p>(総務課)</p> <p>①現存する公共施設・民間施設等の有効利用の視点は評価するが、事業内容のさらなる精査が必要。</p> <p>②ソーシャルメディアを通じた稲美町PRの取り組みは効果的であると考えられるため、事業内容について検討する必要がある。</p> <p>(地域福祉課) ①</p> <p>子育て応援パスポート事業を実施するならば、現在実施しているすこやか親子21支援事業を見直し（廃止）しての実施。赤ちゃんの駅設置事業を実施するための補助メニューは存在しないため、現在ある施設+最低限必要と思われる施設の追加と周知の実施。</p> <p>(健康福祉課) ①</p> <p>赤ちゃんの駅設置事業：課窓口や保健師等の訪問時において、赤ちゃんを連れて外出する際に役立つ情報として、授乳スペース等のある施設等を周知</p> <p>(企画課) ②</p> <p>稲美町まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく定住促進の取り組みは、まだまだ必要だと考えているところです。チームの提案を尊重して、定住促進事業の名称を「稲美に来てんか事業」として、PR動画やパンフレット、ポスターの作成を始め、東京圏域等でのプロモーションイベントへの参加、移住希望者向け体験ツアーの実施、お試し居住支援補助の創設などを、総合的に組み合わせた展開を検討していきたいと考えています。また、提案にあった経費をかせずに自前でできるPR動画の作成については、町の新たな情報提供手段として全部署に広め、活用したいと考えています。</p> <p>(産業課) ②</p> <p>0円では実施できない。人件費・ため池の整備費が必要、情報発信コーナーで流している動画も80万円ほどかかっている。これまで加古大池への遊具設置について、一般質問があったが、自然とのふれあいを理由に否定的な回答をしている。テーマパーク等で利用する場合、駐車場がない。農業用水としての利用があるので埋め立ては困難。</p>	<p>検討</p>	<p>平成30年度稲美に来てんか事業（移住定住促進事業）を実施</p>															



H30年度 地方創生若手・中堅職員研究チーム 提案一覧（方針検討資料）

チーム	提案内容	関係課の意見	決定	現状
主事	<p>「いなみファンクラブ」</p> <p>本会員への登録希望者は、簡易な申請書を提出することで入会することができる。</p> <p>稲美町で行われるイベントや行事、稲美町ならではの魅力を、町内外問わず発信することによって、稲美町をよりよく知っていただき、交流人口や関係人口の増加を促進する。また、町内への移住を考えるきっかけとしていただく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いなみファンクラブ会員証の発行。</li> <li>広報誌、町内イベントに関するパンフレットの送付。</li> <li>改善センター等の町内施設の利用許可。</li> <li>稲美町が行うキャンペーン等への参加。</li> <li>特産品が当たる抽選 町民向けイベントへの参加</li> </ul>	<p>(総務課)</p> <p>①人事係 ・この事業のみでの臨時職員の配置は困難</p> <p>②財務係 ・この金額であれば問題なし</p> <p>(企画課)</p> <p>・関係人口となってももらうためのツールとしては面白い。町側から会員証・特産品等支出があるならそれを賄う収入についても会費としてファンから受け入れるべきでは。 ・町外の人へのPR・会員獲得方法がない（周知機会がない）ので新規関係人口増加は困難と思われる。 ・広報誌は毎月HPに掲載しており、送付する必要性は低い。 ・兵庫県「第二県民制度」が創設され、2019年は各市町の「第二町民制度」創設予定、競合しないように。</p> <p>(産業課)</p> <p>町側のメリットがあまり無いように感じる。 ファンになってもらうと同時に、主査チームの提案のようにSNSで発信してもらえるとよい。</p>	検討	検討
主査	<p>「イナミスト」で地方創生インスタグラムを用いた知名度の向上」</p> <p>若者を中心に流行しているSNSである「インスタグラム」を用いてPRを行うことで、稲美町を全国にPRし、観光客をはじめとした交流人口の増加を図る。</p> <p>行政が極力手をかけない、住民（投稿者）が主体となって活性化させる“自走式”のPR媒体として、住民協働での運用を目指すため、行政情報の発信は行わない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>インスタグラム開始（交流スペースの提供）</li> <li>インスタグラム開始の周知（広報紙、ホームページ、BAN-BANテレビ、新聞、地域情報誌、子育て世代へのチラシ配布など）</li> <li>キャンペーン実施（インスタグラムPRのためのイベント的な仕掛け）</li> <li>「カフェめぐりマップ」等の実施（投稿を活性化させるための仕掛け）</li> </ul>	<p>(総務課)</p> <p>①人事係 ・この事業のみでの臨時職員の配置は困難</p> <p>②財務係 ・この金額であれば問題なし</p> <p>(企画課)</p> <p>・インスタの活用は時代に合っているが、行政のインスタがストック式でなく、フロー式で良いのか疑問。また2次利用について承諾が不明確にならないか、不適切画像の責任の所在を投稿者自身に帰属させるのに問題がないか検証が必要。 ・観光地のない本町においては、総社市のように広域で取り組んだ方が多くのバリエーションの写真が集まるのではないかと。 ・現在のFBも十分に活用できていない中で新たなツールを導入する根拠がない。導入するのであれば閲覧も下火になっているFBは廃止、かつ主として担当する人員（加古川市のような情報発信専門員）が必要。 ・観光か移住定住か、狙いを絞ったほうが良い。</p> <p>(産業課)</p> <p>稲美町のことをSNSで発信してもらえることは大変ありがたい。 対象者の把握が事務的に困難なので、主事チームの提案と組み合わせることで、①登録②発信③報償という流れになる。</p>	実施	実施
係長	<p>「活かせ！アイデア！地方創生政策アイデアコンテストin 稲美 実施事業」</p> <p>内閣府地方創生推進室が主催している「地方創生☆政策アイデアコンテスト」を参考に、政策アイデアコンテストの稲美町版を開催する。また、政策アイデアコンテストの実施とあわせて、良いアイデアの応募につながるよう稲美町の魅力・課題を広く知ってもらうためのサブイベントを実施する。 (サブイベントの例：ワークショップ・講演会・セミナー等)</p>	<p>(総務課)</p> <p>①人事係 ・この事業のみでの臨時職員の配置は困難</p> <p>②財務係 ・この金額であれば問題なし</p> <p>(企画課)</p> <p>リーサスのアイデアコンテストだけでなく、経産省や政策金融公庫、民間事業者などが同様のコンテストを実施しており、稲美町からの出場者もある中で、他のコンテストとの違いを明確化しないと応募してもらえないのではないかと、積極的に申し込んでくれるようなしかなければ必要。 ・提案された事業について、どんな内容でも無碍にできない中、行政外に意見を求めるのは危険。</p>	困難	検討

## R元年度 地方創生若手・中堅職員研究チーム 提案一覧

令和元年度は、「稲美に来てんか事業」の一環として、係長までの若手・中堅職員5名からなる小グループを3チーム組織し、稲美町をPRする動画2本の制作を行った。制作された動画はすべて「稲美町公式YouTubeチャンネル」において公開している。

### 【動画のテーマ】

1. 移住・定住に関する施策を説明するもの
2. 町のイベントや季節、特徴などの魅力を伝えるもの
3. 各課で取り組んでいるタイムリーな施策紹介や、全国にPRを図りたいもの
4. その他

チーム	タイトル	テーマ	ターゲット	内容
A	アプリを使って笑顔で子育て 「いなみっこナビ」	3	妊娠中または幼少期のお子さん がいる子育て世代の家族 これから子育てしようと考えて いる夫婦。	7月から配信を開始した子育てアプリ「いなみっ 子ナビ」を効果的にPRすることを考え、ニュース 番組風の設定で作成。 アプリの説明とともに、子育て中の親子の交流の 場である子育て支援センターを紹介した。
	まわる稲美町シリーズ 『来るっと 稲美町』	2	稲美町を知らない人（町外の人 など）に興味をもってもらいた い。 町内に住んでいる人にも「こん なところがあるんだ」と知って もらいたい。	稲美町を3分で紹介するというコーナーを設定 し、稲美町の特徴といえるため池を紹介。現地に 赴き、自身がため池を実際にまわっているような 動画の製作を企画。
B	いなっちとみんなで いな み音頭を踊ってみた！！ 母里バージョン	2	いなっちがかわいく踊る姿と稲 美町の魅力が伝わる写真を組み 合わせているので、子どもから 高齢者まで幅広い世代に視聴し ていただきたい。	いなっちが、いなみ音頭を踊る動画を作成。歌詞 に登場する風景を「残したい稲美町の風景写真コ ンテストの入賞作品」で紹介。
	「残したい稲美町の風景」 写真コンテスト総集編	2	子育て世代から高齢者までを ターゲットとし、「緑豊かなと ころで子育てしたい。」「定 年後は景色のいいところに移住 したい。」といった、移住を考 えている幅広い世代に視聴して いただきたい。	稲美町の素晴らしい風景を動画にするため、「残 したい稲美町の風景」写真コンテストの受賞作品 を使用。 「季節感のある風景」をテーマに写真を選考し、 季節順に写真を並べることによって、1年を通し ての稲美町を表現。
C	「いなっち」のまち紹介	2	稲美町の施設について知らない 人。	「いなっち」を使った“まち歩き”をイメージし て制作。万葉の森やにじいろふぁ～みんをいなち ち人形が紹介。
	のぞいてみた。 給食メニュー・カレーはこ うやって作られる。	3	学校給食に感心を持ってもらえ そうな、子育て世代。	給食室で撮影された、カレー作りの工程の動画を 制作。 大鍋で作られる工程は、普段見ることができない ものなので、興味を持ってもらえると思う。

令和元年度 稲美に来てんか事業 成果物

内容	移住・定住 コンセプトブック	パンフレット	ポスター	特設サイト	PRビデオ 短編動画	PRビデオ 長編動画
イメージ						
内容	A 4冊子 (18ページ)	A 6 (A 3八つ折)	B 1・B 2 の 2サイズ	住む・働く・育て る・楽しむ等のカテ ゴリーごとに紹介	約 2 分半のもの を 3 本	約 1 2 分のもの を 1 本
閲覧方法	稲美町公式ホーム ページで公開中 	移住イベント等に おいて配布中	移住イベント等 において展示	インターネット検索 	稲美町公式 YouTube チャンネルで公開 	